

C 編集委員の女性比率(部平均)

次に学術研究団体の編集委員女性比率についてみる。表 12 は、平成 13 年度刊行物(和文刊行物を出していないところは洋文刊行物)の編集委員の総数、女性編集委員、それが全編集委員中で占める比率である。

表 12 編集委員の女性比率(部平均)

部	団体数	編集委員総数	女性編集委員数	編集委員中女性比率
第 1 部	390	4171	712	17.1%
第 2 部	40	281	30	10.7%
第 3 部	96	947	60	6.3%
第 4 部	110	1840	120	6.5%
第 5 部	83	2447	62	2.5%
第 6 部	121	1712	129	7.5%
第 7 部	277	3898	305	7.8%

第 1 部が 17%と、他部より高いが、これは 1 部の女性会員比率の高さ(34.7%)を考えれば当然であろう。またこの 1 部では 13.2%であった役員女性比率よりも高い。他の部では 2 部が役員女性比率(6.3%)女性編集委員が高率であるほかは、先にみた役員の場合(表 7)と同様低率である。

女性会員比率と女性編集委員比率との対応関係を具体的にみたのが、表 13 である。

表 13 女性会員比率の高さと編集委員の女性比率の高さが対応しているか

— 会員女性比率が高く、編集委員女性比率が高い団体 —

順位	部	団体名称	代表者性別	13 年会員中女性比率	編集委員中女性比率
1	第 4 部	日本女性科学者の会	女	99.7	100.0
2	第 7 部	日本がん看護学会	女	98.7	100.0
3	第 7 部	日本看護科学学会	女	98.0	81.8
4	第 7 部	日本老年看護学会	女	97.0	100.0
5	第 7 部	日本家族看護学会	女	96.8	88.9
6	第 7 部	聖路加看護学会	女	96.7	100.0
7	第 7 部	日本糖尿病教育・看護学会	女	96.4	100.0
8	第 7 部	日本看護診断学会	女	96.2	100.0

順位	部	団体名称	代表者 性別	13年会員中 女性比率	編集委員中 女性比率
9	第1部	日本女性学会	女	95.8	100.0
10	第7部	日本地域看護学会	女	95.3	87.5
11	第7部	(社) 日本視能訓練士協会	女	94.4	100.0
12	第6部	国際服飾学会	女	93.5	90.0
13	第1部	総合女性史研究会	女	91.7	100.0
14	第1部	日本音楽療法学会	男	91.1	20.8
15	第1部	安田女子大学児童教育学会	男	90.6	25.0
16	第7部	日本栄養改善学会	男	90.5	31.3
17	第1部	服飾美学会	女	89.4	85.7
18	第1部	(財) 日本ピアノ教育連盟	男	89.1	28.6
19	第1部	日本看護福祉学会	男	86.6	55.6
20	第1部	日本ダルクローズ音楽教育学会	男	86.4	75.0
21	第1部	日本家庭科教育学会	女	85.6	100.0
22	第1部	日本イギリス児童文学学会	男	83.3	40.0
23	第1部	日本コミュニケーション障害学会	女	82.4	57.1
24	第7部	日本母性衛生学会	男	81.8	46.7
25	第1部	比較舞踊学会	女	81.8	62.5
26	第6部	(社) 日本家政学会	女	80.1	73.1
27	第6部	日本衣服学会	女	79.9	70.0

会員の女性比率が高い場合は、編集委員にも女性が多く参画する傾向がある。しかしここでも例外はあり、音楽療法学会、栄養改善学会、ピアノ教育連盟のように女性会員が大多数を占めているにもかかわらず、編集委員には女性は少なく代表も男性という団体もある。どのような事情がこのアンバランスを生じさせているのか、検討に値しよう。

まとめ

学術領域による差はあるものの、どの領域でもこの3年間に女性会員は着実に増加してきている。にもかかわらずその増加の割には役員や編集委員となる女性比率は上がっていない。そこにはどのような要因が働いているのか——女性研究者側にまた男性研究者側に——は更に詳細な分析が必要であろう。とりわけ女性会員が極めて多いのに役員比率が極端に低い領域について個別の分析検討が必要であろう。

他方、この提言を具体化するために「女性科学者の環境改善に関する懇談会」も発足し、女性研究者の研究環境に関する調査研究を行なっている。その成果の一端は「女性研究者の可能性を探る」(1996 ドメス出版)「女性研究者のキャリア形成」(1999 勁草書房)としてまとめられている。

付録 学術研究団体の登録申請カード

学術研究団体の登録申請カード

(第19期)

※ 印の欄は記入しないでください。

※受付 月 日
No.

1 団体の名称

(ふりがな) 和文名	-----	※
欧文名		

2 代表者

(ふりがな) 氏 名	-----	性別	男 女	団体内 役職名		※
自宅住所	〒					
	電話:	FAX:				
勤務機 関 名	【学位・称号等 電話:					】

3 事務所所在地、連絡先及び本件事務担当者

(1) 事務所所在地

〒						※
電話:	FAX:	E-mail:				

(2) 連絡先

〒						※
電話:	FAX:	E-mail:				
備考						

(3) 本件事務担当者

(ふりがな) 氏 名	-----	団体内 役職名		※
問合わせ先	電話:	FAX:	E-mail:	

4 学術領域(関連研究連絡委員会)

届出を希望する学術領域			研究連絡委員会の名称	
申請順位	領域コード			
第1順位			研究連絡委員会	※
第2順位			研究連絡委員会	※
第3順位			研究連絡委員会	※
第4順位			研究連絡委員会	※

5 団体の目的及び入会資格

	(1) 目的	※
	(2) 入会資格	
	① 資格を特定の地域内に居住し、又は勤務している者に 限って-----→ いる いはい ② 資格を特定の大学、学術研究機関その他の団体に所属 する者(かつてこれらに属していた者を含む。)に限って----→ いる いはい	

6 最近3年間の会員(構成員)数及び男女別数

平成 年 月	個人会員数	_____人	男女別数については実数・概数どちらかに○				※		
	A 会員		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	B 会員		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	計		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	団体会員数	_____団体	備考						
平成 年 月	個人会員数	_____人	男女別数については実数・概数どちらかに○				※		
	A 会員		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	B 会員		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	計		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	団体会員数	_____団体	備考						
平成 年 月	個人会員数	_____人	男女別数については実数・概数どちらかに○				※		
	A 会員		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	B 会員		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	計		_____人	実数・概数	男	人		女	人
	団体会員数	_____団体	備考						

注) A会員とは、個人会員のうちB会員以外の科学者をいう。B会員とは団体の趣旨に賛同してその事業を擁護することを専らとするいわゆる賛助会員、団体の刊物の入手を専らとするいわゆる購読会員などをいう。なお、研究活動を行っている者であっても、学部学生及びこれに準ずる者は、このB会員に入ります。

7 通算活動期間

①	_____年 _____月 ~ 平成 _____年 _____月 (_____年 _____月間)	※
②	平成 _____年 _____月変更 旧団体名等	

8 登録の実績

第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	新規	※
------	------	------	------	------	------	----	---

団体の名称：

9 最近3年間の活動状況（年ごとに記入してください。）

(1) 学術研究集会の開催

	学術研究集会の名称	開催回数	参加者数
平成 年	① ②	回 回	人(人) 人(人)
平成 年	① ②	回 回	人(人) 人(人)
平成 年	① ②	回 回	人(人) 人(人)

※

(2) 学術刊行物の発行

	学術刊行物の名称	発行回数	査読制度
平成 年	① ②	回 回	有 無 有 無
平成 年	① ②	回 回	有 無 有 無
平成 年	① ②	回 回	有 無 有 無
備考（独自の刊行物を発行していない場合に記入） 平成 年 平成 年 平成 年			

※

(3) 学術刊行物（和文・和文以外を含む）の編集委員及び男女別数

	学術刊行物の名称	編集委員等
① 平成 年	(和文)	人(男 人女 人)
② 平成 年	(和文)	人(男 人女 人)
③ 平成 年	(和文)	人(男 人女 人)
④ 平成 年	(和文以外)	人(男 人女 人)
⑤ 平成 年	(和文以外)	人(男 人女 人)
⑥ 平成 年	(和文以外)	人(男 人女 人)

※

注) 和文刊行物及び和文以外の刊行物の代表的なものを各々3点以内で記載すること。

(4) 総会（又はこれに準ずるもの）の開催

開催年月	名 称	主な決定事項	※
平成 年 月			
平成 年 月			
平成 年 月			
備考			

10 役員数及び男女別数

役員総数	男女計	人	うち、大学又は学術研究機関（企業等の研究部門を含む。）に所属する科学者及びその他学術研究に従事する科学者の合計数	男女計	人	人	※

11 経常収入の推移

	平成 年	平成 年	平成 年	※
① 個人会費	千円	千円	千円	
② 集会参加料、投稿料等	千円	千円	千円	
計	千円	千円	千円	
③ 団体会費	千円	千円	千円	
④ その他	千円	千円	千円	
計	千円	千円	千円	
⑤ 前期繰越	千円	千円	千円	

※

定 め	名 称 []、代表者 []、事務所 []、目的 []、資格 [] 1 定款・寄付行為 2 規約 3 その他の会則等		
申 請 書 添付資料	会則等 (有 無) 刊行物 (有 無) 会員名簿 (有 無)	役員研究歴 (有 無) 総会等 (有 無) 入会申込書 (有 無)	研究集会 (有 無) 収支状況 (有 無) 査読制度 (有 無)
所 見			
主任審査委員 [] 事務担当者 ()			